

あさひ燦々

旭労災病院院外広報誌

理念 信頼される医療、誇れる医学

第15号



独立行政法人 労働者健康福祉機構
旭労災病院 病院長 木村玄次郎

地域の皆様方の御支援のお陰で、いよいよ今年から3年後の完成を目指し、旭労災病院は全面建て替え工事に着手致します。この1-2年、近隣の医療機関からの紹介患者さんが著増し、入院・外来ともに多くの患者さんに活用いただけるようになっていきます。昨年4月には念願の二次救急病院に指定され、重症患者さんにも積極的に対応しております。腎臓内科も新たに発足し、ほとんどの疾患に対応できる名実ともに総合病院となっていま

す。勿論、人間ドック、ワクチンや予防接種も実施しています。

市民公開講座を旭労災病院として初めて昨年開催することができました。大勢の市民の方々に御参加いただき「糖尿病」や「骨粗鬆症と骨折」について理解を深めていただけたと確信しています。病院まつり“健康チャレンジ”も初めて実施しました。血圧や骨密度の測定、メタボや血糖チェック、バランス体操による年齢判定、面白輪投げ、ゼロカロ

り一飴の掴み取り、各種セミナー、相談コーナーなどなどで病院は大賑わいでした。市民の皆様と病院のスタッフが一緒になって共に和気藹々と楽しんでいただけたのではないのでしょうか。市民公開講座や病院まつりを通して、病院に親しみを感じ、気軽に受診していただければと考えています。

また、三市（尾張旭、瀬戸、長久手）消防本部との合同の消防・災害訓練を旭労災病院で実施致しました。南海トラフ大地震が発生し、火災に加え、院内に負傷者が発生したことを想定した大がかりな訓練で、中日新聞でも報道されました。はしご車も登場し、患者さんの誘導避難、消防隊と病院職員の協力によるトリアージなど実践さながらに行われました。災害や火災時にも病院が地域に役立てられるよう、更に対策を講じて行きたいと考えています。

当院は、どなたでも受診いただける市民病院的な公的基幹病院です。厚生労働省管轄下の独立行政法人 労働者健康福祉機構が設立・運営する病院です。「信頼される医療、誇れる医学」をモットーに安心・安全の医療をス

タッフ側も誇れるレベルで、患者さんに納得していただける形で提供することを理念としています。当院の大きな特徴は、50年を超える歴史があり、古いけれども大事に磨き込んで使われており輝いていることです。病院まつりでも感じていただいたように、温かみがあり、「看護師さんは親切で、医師も丁寧に説明してくれる」とのお褒めの言葉をいただいています。地域の方々に気軽に立ち寄っていただける、地域に溶け込んだ、病気でなくとも訪れたいくなる新しい病院形態を目指してまいります。

全面建て替えが決定され、平成29年には新病院をオープンすべく職員が一丸となって鋭意準備中です。「コンパクトで骨太の旭労災病院」が生まれ変わるのを是非、御期待下さい。地域に密着しながら、世界を見据え社会に貢献することこそ独立行政法人としての使命です。今後共、地域密着型の旭労災病院に対して地域の皆様から暖かい御支援をいただきますよう本年もどうか宜しく願い申し上げます。

